

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【北九州スタートアップエコシステム推進事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	53,755千円 (8,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・活力ある企業の創出などを通じて、若者の希望に見合う魅力的な就職先の提供することで、若者の市内定着、域外からの人材還流を促す。 ・市内企業とスタートアップ企業のオープンイノベーションを通じて、日本のDX化を牽引する活気ある産業都市の再生を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・民間主体のアクセラレーションプログラム運営費 (負担金) 3,000千円 ・開業ワンストップセンターの申請サポート人員等配置費 (委託料) 3,000千円 ・市内小中学生向けアントレプレナーシップ育成事業 (委託料) 2,000千円	アクセラレーション プログラム  小中学生向けアントレ プレナーシップ教育  開業ワンストップセンター 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①創業支援等事業計画に基づく市全域の創業者数 (+47人) ②雇用保険新規適用事業所数 (+141件) ③市内新規雇用者数 (+3,835人)	関連URL	調整中

事業概要【持続可能なまちづくりのための地域活力向上にぎわい創生プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県八女市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	91,085千円 (9,790千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・地域活力の向上とにぎわいを創出し、持続可能な自立した地域をつくる。 ・八女市への新しいひとの流れをつくり、継続的に多様な形で関わる関係人口を創出・拡大させる。 ・だれもが多様な才能を発揮できる持続可能な地域社会構造への移行を目指す。 ・地域課題に関わる人々の深化・多様化を促す構造を構築し、過疎・高齢化による地域活力の低下を防ぐ。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○コミュニティ通貨システム利用料 1,320千円 ・まちのコインアプリ利用料 ○コミュニティ通貨企画運営業務 5,480千円 ・コミュニティ通貨流通促進プロモーション ・利用者拡大のためのツール等の製作 ・加盟団体募集促進・エリア拡大 ・コミュニティ通貨流通促進プロモーション ○関係人口創出拠点施設運営 2,990千円 ・施設を活用した企画運営 ・運営人件費	コミュニティ通貨を活用して実施した地域課題の解決 べんがら柿渋塗ボランティア 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①アプリ内チケット利用回数 (+20,200回) ②地域外ユーザーの利用回数 (+700回) ③コミュニティ通貨を活用したプロジェクト実施数 (+47回) ④コミュニティ通貨利用者の起業数 (+5件)	関連URL	https://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/8/chihouseisei/1500000249735.html

事業概要【ひろかわ繊維産地の未来づくりプロジェクト】

推進当初

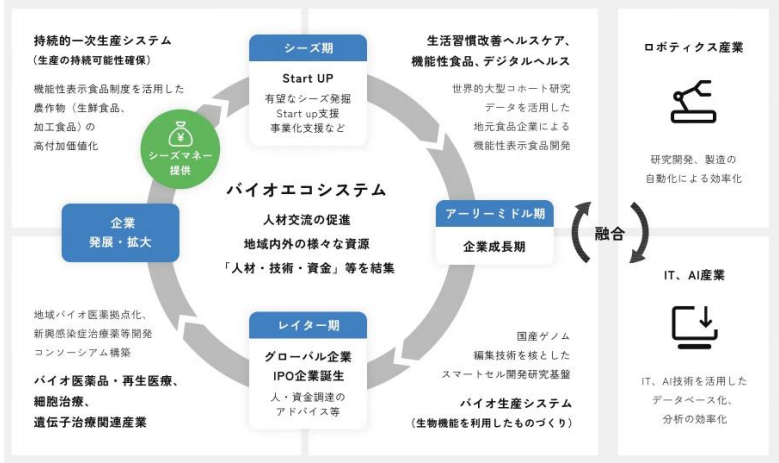
申請者	福岡県広川町	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	105,082千円（19,254千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	繊維産業の活性化と移住定住の取り組みとを複合的に展開し、相乗効果を高めていくことで、さらなる関係人口を獲得し、そのまま繊維産業の担い手として移住することができる環境の整備に包括的に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【深化型ひろかわ移住定住促進事業】 ●移住定住促進センター兼滞在交流施設及び洋裁デザイン施設指定管理委託料 12,397千円 ●産地間ネットワーク構築、クリエイティブ人材向け起業講座等に係る委託料 1,803千円 【ひろかわ繊維産地の機能強化事業】 ●包括的業務支援委託料 3,274千円 ●機器改良可能性調査研究補助金（工業大学）1,747千円 ●会議運営に係る消耗品33千円	 久留米絨のアイデンティティを未来へつなぐ	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①繊維産業で就業・創業した移住者（+16人） ②新商品開発数（+12品） ③開発した新製品販売額（+7,000,000円） ④移住相談者（+45人）	関連URL	https://www.town.hirokawa.fukuoka.jp/soshiki/kikaku/1/1/index.html

事業概要【福岡バイオコミュニティ形成プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県、久留米市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,552,796千円 (291,456千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・福岡バイオコミュニティの形成を推進し、国内有数のバイオ産業の拠点化を目指す ・イノベーションや投資等を促進するバイオエコシステムの構築を目指す ・地域において魅力的で安定した雇用の場を創出する		
事業概要・ 主な経費	1. 福岡バイオコミュニティ基盤形成 ○福岡バイオコミュニティ推進会議の運営 (人件費、活動費等) 28,172千円 ○市場領域拡大に係るプロジェクト協議会の運営 (旅費、資料代等) 3,786千円 ○報告会・連絡会等の開催 (使用料、旅費、資料代等) 2,249千円 ○オープン・イノベーション機能構築 (人件費、活動費等) 10,780千円 ○異分野交流の環境整備 (共用機材整備費、オペレート費用等) 10,000千円 ○展示会・マッチングイベント等の開催及びアドバイザーによる海外展開支援 (出展料、使用料、資料代、人件費等) 10,480千円 ○オウンドメディアの運用 (HP改訂費、資料代等) 3,299千円 ○アクセラレーションプログラムの構築 (人件費、活動費、使用料等) 23,003千円 ○人材確保・人材育成支援事業 (人件費、使用料、旅費等) 4,178千円 2. 福岡バイオコミュニティ市場領域の拡大 (県内バイオベンチャーへの実証事業補助等) ○生鮮食品等の機能性食品展開事業 (補助) 31,452千円 ○出口戦略・海外展開事業 (補助) 4,328千円 ○地域バイオ医薬拠点化事業 (補助) 100,579千円 ○先駆的バイオベンチャーに対する米国での医薬品承認等支援事業 (補助) 14,000千円 ○ゲノム編集や生物機能等を活用したスマートセル実用化事業 (補助) 45,150千円		
KPI	①バイオ分野の一人あたり給与 (+333,000円) ②県内バイオ関連企業数 (+55社) ③実証事業による製品化販売額 (+330,000,000円) ④福岡バイオコミュニティ推進会議新規会員数 (+110会員)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

※経費内訳はR6年度事業費



事業概要【人の流れや投資を呼び込む「新たな都市ブランディング」推進事業】

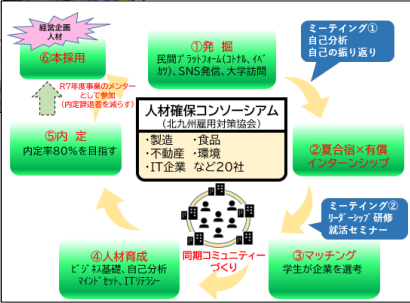
推進当初

申請者	福岡県北九州市ほか18自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	536,813千円(88,959千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	充実した都市インフラ等を有する北九州市が中心となって、北九州都市圏と山口県下関市を加えた、「北九州経済圏」のブランディングを一体的に行うことで、より多様なフィールドやプレイヤーの活用等を通じて、都市圏の価値向上、市外からの人の流れや投資を呼び込む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○シティプロモーション推進事業 ・戦略的広報事業（委託費等）55,894千円 ・新しいまちのイメージ発信プロジェクト（委託費）12,305千円 ○メガリージョン推進事業 ・北九州都市圏域連携事業（委託費）6,220千円 ・関門連携推進事業（委託費）1,320千円 ○クルーズ船誘致・受入事業 ・クルーズ船誘致・受入事業（負担金）2,200千円		 JR小倉駅ストリートサイネージの様子
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①小倉都心地区の歩行者通行量（+456,140人） ②商業地区の空室率（+2.5%） ③北九州市の魅力度ランキング（+50位上昇） ④関門エリア（下関市・北九州市）の観光客・宿泊客による観光消費額（+33,225,000千円）		関連URL 調整中

※福岡県北九州市、山口県下関市、福岡県直方市、福岡県行橋市、福岡県豊前市、福岡県中間市、福岡県宮若市、福岡県芦屋町、福岡県水巻町、福岡県岡垣町、福岡県遠賀町、福岡県小竹町、福岡県鞍手町、福岡県香春町、福岡県苅田町、福岡県みやこ町、福岡県吉富町、福岡県上毛町、福岡県築上町

事業概要【新卒者市内就職応援プロジェクト ～キャリア形成段階に応じた就職支援～】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	447,265千円 (88,820千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	中学・高校・大学等と早期からキャリア形成の段階に応じた事業を展開し、継続的に企業や仕事の魅力に触れる機会を提供することで職業観を醸成するとともに市内企業への興味・関心を高める。また、市外や留学生を含めた幅広い学生を対象とした事業展開や企業の新卒採用力の向上、就職に影響を与える教員等への働きかけなど、全方位からのアプローチにより、市内企業の若年層の人材確保を図るとともに若年層の市内定住・還流を促進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○就活前学生向け事業 ・職業観の醸成・市内企業の認知度向上を図るためのイベント等 (委託費等) 24,200千円 ・企業の魅力を体験するインターンシップ等事業 (委託料) 16,800千円 ○就活学生向け事業 ・採用選考につなげるための業界研究イベント等 (委託費) 6,900千円 ○就職前学生及び就活学生向け広域展開事業 ・九州・山口一円の学生就職支援 (委託費) 3,700千円 ○企業向け事業及び保護者・教員向け事業 ・企業への採用力向上支援 (委託費等) 36,420千円 ・保護者・教員への市内就職PR (委託費) 800千円	 [左写真] 市内企業の認知度向上を図るためのイベント  [下図] 企業への採用力向上支援プログラム	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内企業への新卒就職者数 (+700人) ②インターンシップ参加者数 (+180人) ③インターンシップ企業数 (+50団体)	関連URL	調整中

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	386,722千円 (62,129千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	首都圏等に北九州市の魅力を発信することで、関係人口の創出、北九州市への人の流れをつくるとともに、移住希望者のニーズに応じた就業支援や雇用の創出等を通じて、市内産業の活性化を図り、生涯活躍のまちの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ポストコロナの全世代型定住・移住促進事業 ・定住・移住の支援（委託費）11,000千円 ・定住、移住促進PR（委託費等）4,629千円 ・東京に転出した若者の交流推進（委託費）3,000千円 ○移住者の視点による移住相談事業 ・多岐にわたる移住相談に対応するワストップ°窓口の創設 (委託費) 7,000千円 ○北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト ・U・Iターン職業紹介等実施業務（委託費）13,500千円 関心層 ↑ ・関係人口の創出 ・住みよさPR 移住検討層 ↑ ・移住相談窓口 ・イベント、SNS等 での市情報提供 移住 ↑ ・UIターン応援プロジェクト ・副業・兼業支援 定住 ↑ ・移住後のコミュニティ 構築支援 ・暮らしと仕事の両面からの支援を実施 ・各段階に応じた支援により、移住者の不安解消を図る ・人流の好循環により、市内企業の人材確保、産業の活性化を図る		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①20～30歳代の社会動態改善数（令和元年基準）（+970人） ②採用提案等によるU・Iターン就職決定者数（+180人） ③複業・兼業のマッチング件数（+80件）	関連URL	調整中

事業概要【企業の持続的発展・誘致による北九州地域経済活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	755,572千円 (152,474千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・首都圏のIT関連企業等の誘致による新たな雇用の創出 ・市内企業のデジタル化の推進による生産性向上・競争力強化 ・雇用創出、生産性向上・競争力強化の取組等を通じて、地域経済活性化を実現		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業誘致の強化 ・自動運転セミナー開催費 (委託費等) 574千円 ・実証実験、技術開発等関連費 (補助費) 2,700千円 ・ワーケーション推進事業費 (委託費等) 25,000千円 ○デジタル化の推進 ・専門家派遣費、広報費等 (委託費等) 26,500千円 ・中小企業のDX化導入補助 (補助費) 62,400千円 ・理工系学生のインターンシップ費用 (委託費) 2,000千円 ○事業活動の下支え ・事業承継セミナー開催費 (委託費) 1,500千円 ・事業承継の専門相談員配置費 (委託費等) 1,800千円 ○オフィスリノベーションの促進 ・OAフロア化等の補助 (補助費) 30,000千円 企業誘致 新規雇用 DX導入 地域経済活性化 【成功モデル都市】		
KPI	①市内新規雇用創出数 (+31,560人) ②企業誘致による新規雇用創出数 (+1,500人) ③DX導入企業数 (+200社)	関連URL	調整中

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	315,187千円（56,850千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・感染症や自然災害が発生しても、住み慣れた地域で健康かつ安心して暮らせる地域・社会を構築する ・ICT・介護ロボット等を活用した「北九州モデル」の展開により、感染症に強い介護現場づくりに取り組む		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○先進的介護「北九州モデル」の推進 ・北九州モデルの展開（相談支援拠点の運営等） （委託費等）41,877 千円 ・感染症予防等に資する新たな先進的介護の取り組み （委託費等）13,543 千円 ・介護ロボット等の開発・改良、普及・啓発 （委託費等）1,430 千円 STEP 1 業務仕分け 介護施設で実施している介護・看護業務をリスト化し、その中から課題となる業務を抽出して解決可能な領域に仕分ける STEP 2 ICT・介護ロボット等の導入 仕分けた結果を基にインカムや記録システム、見守り支援機器などのICT・介護ロボット等の一体的な導入及び周辺業務のアウトソーシング等を実施する STEP 3 業務オペレーションの整理 ICT・介護ロボット等の活用や業務量の需給バランス等を踏まえて、日中や夜間の業務オペレーションを整理する ポイント 上記3ステップの具体的なノウハウをパッケージ化 北九州モデルの提供価値 “時間を生み出す介護” 業務効率化により生み出される職員の身体的・精神的・時間的な「ゆとり」を効果的に活用し、介護の質の向上及び職場環境の改善を実現 効率化によって生み出された時間の活用 1 介護サービスの質の向上 ・利用者と関わる時間の増加 ・研修等の専門性向上活動の増加等 2 職員の負担軽減 ・夜勤回数の削減（※平均2回/月） ・有休取得の促進（※10日以上/月）等 3 生産性向上 ・業務量に見合う弾力的な人員配置（※2:1→2.87:1） ・日中・夜勤帯の人員配置の最適化等 先進的介護「北九州モデル」の概要		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①北九州モデル導入を含む職場改善件数（+25件） ②介護ロボット等導入施設数（+63件）	関連URL	調整中

事業概要【若い世代の人材と地域企業の育成を核とした若い世代に選ばれるまち形成事業】

推進当初

申請者	福岡県大牟田市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	361,892千円 (37,353千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・開放的なイノベーション拠点を整備し、新たな交流やネットワークを生む仕掛けづくりを進め、次世代の人材育成を図る。 ・若い世代の本市の地域経済や地域企業への興味・関心を深め、定住人口や関係人口の創出を図る。 ・IT企業などの情報関連産業の企業誘致を進め、若い世代の働く場所の選択肢を広げる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○開放的なイノベーション拠点を整備し、産学官金による多様なソフト事業を展開 ・ソフト事業の実施（補助金等）9,000千円 ・大牟田市ビジネスサポートセンターの設置（利用料等）4,098千円 ○若い世代に選ばれ、地域企業のデジタル化を支える情報関連企業等の誘致及びIT人材の育成 ・誘致の展開（補助金・需用費等）4,660千円 ○地域企業の魅力向上に向けたデジタル化、成長戦略・イノベーション創出への支援 ・イノベーション創出支援の実施（補助金等）11,295千円 ○本市をフィールドとする先進技術等の実証実験の展開 ・事業プロモーションと連携支援等に係る協議会の運営（委託費・需用費等）3,000千円 ・福岡地域戦略推進協議会との連携（負担金等）300千円 ・eスポーツ等のデジタル技術を活用した事業（負担金等）5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①拠点施設利用者数（+4,450人） ②イノベーション創出促進事業の実施（ビジネスマッチング、交流事業など）（+30回） ③貸しオフィス入居数（+11件） ④新事業創出（技術開発、新商品開発、創業、協業など）（+8件）	関連URL	https://au-rea.com/



事業概要【「新たな日常」における地域間連携による「民需」「人の流れ」創出プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県久留米市ほか 5 自治体※	初回採択回	令和 3 年度第 1 回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,646,649千円 (301,213千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	新型コロナウイルス感染症による「新たな日常」において、圏域市町の D X 推進等による民需主導による成長や雇用の創出、観光消費額の増加により、圏域の平均所得の向上を実現していく。併せて、圏域市町の連携による移住定住の推進や観光客の確保といった「ひと」の流れを創出し、その「ひと」が交流し、移住・就業等を通じて、「ひと」と「しごと」の好循環化を実現していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域産業の経営基盤の強化と雇用・就労の促進 ・企業に対する D X 化支援 (委託6,600千円) ・ハイブリッド形式等による会社説明会の開催など就労促進 (補助金4,974千円) ○地域資源の磨き上げ ・ワーケーションの推進 (イベント強化) (委託料2,000千円) ・オンライン予約型体験交流型の観光 (広域実施) (補助金2,182千円) ○観光・M I C E のプロモーションの展開 ・ネットメディアや情報誌、イベント、オンライン等様々な手法を活用した観光プロモーション (補助金4,098千円) ○魅力の発信・シティプロモーションの展開 ・ラジオや T V、オンライン等のメディアを活用した情報発信 (補助金11,010千円)	圏域(4市2町)連携  雇用 観光 移住 圏域の 平均所得の向上 「ひと」と「しごと」 の好循環	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①圏域の就職者数 (+ 823人) ②圏域の直接消費額 (+ 300百万円) ③圏域の人口と人口推計の比較 (+ 8,920人)		関連URL 久留米市 https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1100keikaku/2045keikaku/3015sousen/ 太川市 https://www.city.okawa.lg.jp/s007/010/020/020/20160225145825.html 小郡市 https://www.city.ogori.fukuoka.jp/1139/1146/1207 うきは市 https://www.city.ukiha.fukuoka.jp/list00232.html 大刀洗町 https://www.town.tachiarai.fukuoka.jp/page/page_01323.html 太木町 http://www.town.ooki.lg.jp/kankyo/jititsougoukeikaku/7673.html

※福岡県久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、太木町の広域連携事業

事業概要【ひとりひとりが主役の豊前市「ハレノヒ」実現プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県豊前市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	412,364千円 (94,392千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・自然を活かした食や体験プログラム等による、地域の魅力の磨き上げを図る ・地域の人々の役割や活躍の機会の掘り起こしのため、多世代交流を図る ・仕事や雇用の創出を図るため、市外からの交流、関係、移住定住人口など＝活躍人口の創出を図る ・上記目的を実現するため、チャレンジショップ及び交流体験スペースの創出を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○活躍人口の創出拡大に向けた各種事業実施 ・活躍人口創出費（委託料、消耗品、借上等）12,639千円 ・ネイチャーフィールド環境改善費（委託料、補助金、整備材料費等）18,964千円 ○活躍人口が取り組みたいことを支援するための環境づくり ・地域づくり活動支援費（委託料、補助金、その他需用費等）16,930千円 ・健康づくりシステム構築・活動促進費（委託料、補助金、その他需用費等）4,837千円 ○多様な人が生涯を通じて学び、体験することによる「ひとづくり」に関する事業 ・学びの機会と人材育成費（委託料、補助金、その他需用費等）27,860千円 ・体験活動等促進費（委託料、その他需用費等）3,162千円 ○チャレンジショップ及び交流体験スペース関連経費 ・JR宇島駅横電車が見える公園コンテナ設置（工事費、委託費）10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①平均滞在人口（+729人） ②豊前市の総生産額（+71億円） ③転入者数（+68人） ④体験型イベントの開催回数（+20回）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.buzen.lg.jp/sousei/harenohi.html （効果検証） https://www.city.buzen.lg.jp/sousei/tihousouseijigyoku.html

申請者	福岡県ほか5自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	536,336千円(183,009千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的(効果)	・国内観光客を中心とした誘客に重点的に取り組むとともに、地域の観光資源開発や魅力ある体験型観光をつないだ広域ルートを設定し、新たな観光エリアを創出することで、県内各地域への来訪を促進し、旅行消費の拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【ポスト・ウィズコロナ時代のニーズに対応した観光地域づくりと地方部における消費拡大】 ・世界遺産及び周辺の文化資源等を活用した誘客・周遊促進プログラムの造成・実施(負担金)3,534千円 ・外部有識者等の支援を受け策定された伝統工芸振興計画等に基づく事業への支援(補助金)7,200千円 ・サイクリスト誘客のための旅行商品造成(委託料)8,685千円 ・修験道体験を組み込んだ旅行商品造成(補助金)3,500千円 【国内観光客をターゲットとした誘客の強化】 ・SNSを活用した情報発信(補助金)5,984千円 【観光事業推進体制の強化】 ・観光地域づくり支援、デジタルプロモーション、マーケティング機能の強化事業費(補助金)76,190千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①延べ宿泊者数(日本人)(+775万人泊/年) ②旅行消費単価(日本人)(+14,500円) ③リピーター率(+2.7%)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

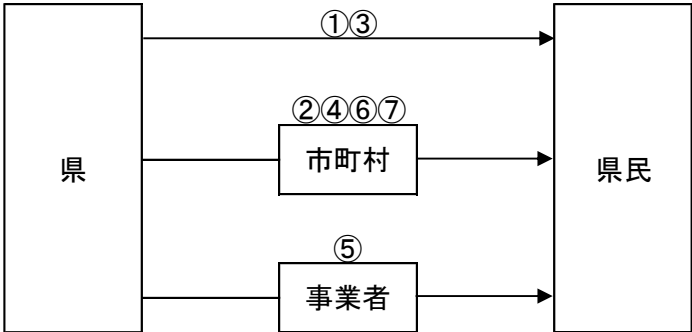


護摩行体験の様子



修験道行者体験

事業概要【自然と健康になるまちづくり（ポストコロナにおける新たなふくおか健康づくり県民運動）】

申請者	福岡県、大刀洗町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	502,818千円（168,346千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	①働く世代の歩数を日常生活の中で増やすための環境を整備。 ②市町村が実施する健康教室を社会参画の場として活用することを支援。 ③産学官の協議会を設置し、健康関心度に関わらず減塩ができる環境を整備。 ④国民健康保険のデータ分析結果等を活用し、訴求力の高い健（検）診の受診を勧奨。 ⑤県内中小企業の働き方改革や健康経営を推進し、中小企業における魅力ある職場づくりを推進。 ⑥スポーツ推進委員を健康教室のインストラクターとして養成するなど、スポーツ推進委員の活用を推進。 ⑦生活習慣が確立する子どもを対象としたスポーツイベント等を開催し、健康づくりの習慣化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①「今日も歩こう！（仮称）」キャンペーン推進事業 ・キャンペーン実施費（委託料）4,125千円 ②高齢者の社会参画支援事業（補助金）110,194千円 ③「福岡県食品減塩推進協議会」の設置による食環境整備の推進 ・食品スーパー等が開発する減塩商品の開発等に対する補助及び販売支援（補助金、委託料）19,380千円 ④エビデンスに基づいた健（検）診受診勧奨事業（委託料）1,320千円 ⑤県内企業の健康経営推進事業 ・健康経営認定制度運営費（委託料）5,993千円 ⑥スポーツ推進委員活用促進事業（補助金）995千円 ⑦大刀洗町こどものスポーツ・健康づくり習慣化の推進事業（委託料）484千円 ＜事業イメージ図＞  <pre>graph LR; A[県] -- "①③" --> D[県民]; A --> B[市町村]; A --> C[事業者]; B -- "②④⑥⑦" --> D; C -- "⑤" --> D;</pre>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①成人のスポーツ実施率（週1回以上運動またはスポーツを実施している者の割合）（+5.1%） ②「ふくおか健康ポイントアプリ」利用者の平均歩数（+2,250歩） ③特定検診実施率（+22.66%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

事業概要【福岡自慢の農林水産物を活用した地域活性化】

推進当初

申請者	福岡県ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	497,886千円 (147,786千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	- 生産性の向上や流通効率化など、消費者や実需者のニーズを反映させる農林水産物の生産供給体制を構築 - 県産農林水産物の消費拡大による認知度向上で、他産地と差別化を図り競争力を強化。 - 今後縮小する国内市場と拡大する海外市場を見据えた輸出産地づくりによる輸出拡大を推進。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○県産農林水産物の国内外への安定供給による本県の魅力強化 ・県産農林水産物（八女茶、みかんなど）の輸出拡大に向けた取組（委託料等）82,645千円 ・高品質な農水産物の安定供給（委託料、補助金等）20,176千円 ○ロボット関連産業等との連携で農林水産物の生産・流通を改革 ・「あまおう」収穫・出荷調整ロボットの活用（備品購入費等）16,070千円  八女茶  福岡みかん  福岡有明のり		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県産農林水産物の輸出額 (+16.95億円/年) ②デジタルデータを活用した経営を行う経営体数 (+360経営体) ③国外加工したマダイの取扱店舗数 (+120店舗)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

事業概要【霊峰英彦山を核とした地域ブランドの構築事業】

推進当初

申請者	福岡県ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	225,110千円 (57,258千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	地域資源を最大限に活用したブランディングを行うことを通じて、地域の価値を向上させ、国内外からの継続的な人の流れを呼び込み、地域ににぎわいを取り戻すとともに、地域住民のシビックプライドを醸成し、誇りを持って長く住み続けたいと感じる持続可能な地域づくりを実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域ブランドの構築・強化と地域内機運の醸成 ・地域PRのためのイベント開催（委託費）2,500千円 ・地域情報総合サイト運営（委託費）1,753千円 ・観光地域づくり検討会の運営（委託費）4,500千円 ○地域内滞在時間の拡大と地域ブランドを支える関係人口創出 ・BRTと連携した周遊ツアー販売（委託費）2,000千円 ・地域資源を活用した交流促進事業（委託費）11,105千円 ・BRT沿線景観整備（委託費）26,000千円 ○世界に向けた英彦山ブランドの発信 ・海外映画・ドラマロケーション誘致（委託費）2,400千円	 めがね橋 (東峰村)	 英彦山神宮の参道 (添田町)
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の賑わい拠点年間利用者数 (+1,550千人) ②地域情報発信サイトアクセス数 (+1,300,000件) ③15歳～34歳の転出超過数 (▲35人) ④ロケーション誘致数 (+3件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

※福岡県、東峰村、添田町の広域連携事業

事業概要【デジタル技術を活用した中小企業の生産性向上支援事業】

推進当初

申請者	福岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	423,553千円（158,620千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	中小企業が生産性向上の視点から工程改革や組織改革など「強い企業への変革」を促すため、生産性向上支援センターにおいて支援アドバイザーが伴走支援する。ニーズが高まっているデジタル化支援のため「改善支援ユニット」に加え「デジタル支援ユニット」を創設、宿泊業支援を対象とした「宿泊支援ユニット」も新たに設置、支援アドバイザーと共に業務の属人化を見直し、県内中小企業のデジタル化及び生産性向上を支援する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇デジタル技術を活用した生産性向上に向け、「福岡県中小企業生産性向上支援センター」のアドバイザーが伴走支援を行う。 ・委託事業経費（委託費 90,256千円） 〇生産性向上中核人材育成技術実践講座の開催及び企業現場に直結した実践的な人材育成を実施する。 ・講座開催費（委託費等 25,927千円） 〇県内ものづくり中小企業のデジタル化推進のため、工業技術センターにおける先進研究開発及び人材育成プロジェクトを実施する。 ・実証支援ラボの運営経費（委託料等 35,350千円） 〇補助金による県内中小企業に対し、デジタル化を促すための設備投資に対し補助する。（県費で実施） 〇支援の裾野拡大と競争力強化に要する経費（委託費等7,087千円） 福岡県中小企業生産性向上支援センター		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル化現地支援終了後、「企業毎の個別指標」に関して支援前よりも生産性が向上した企業数（+300社） ②中小企業におけるDXの実践割合（+18%） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/		

申請者	福岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	198,861千円 (67,055千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・高度経営人材をデータバンク化し、大学発ベンチャー企業の人材確保を支援する ・創業やベンチャー企業の集積に繋げるため、ベンチャー企業と市町村のマッチングを促進する ・世界で活躍するベンチャー企業を輩出するため、IPO支援に強い専門家による個別サポートを行う		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○福岡県CXOバンク 13,164千円 ○ベンチャー企業と市町村との協業促進 5,277千円 ○トップランナー企業応援補助金 6,000千円 ○登録アドバイザーを活用したオンライン商談会の開催 2,560千円 ○海外市場の販路開拓・拡大 (バイヤー招へい) 1,500千円 ○福岡県SDGs推進企業等登録制度 12,998千円 ○経営強化改善提案事業 16,746千円 ○IPOに向けた実践的個別コンサルティング等伴走支援 2,525千円 ○ITスタートアップ大賞の実施 3,480千円 ○福岡デザインアワードのオンライン化 2,805千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①1億円以上の資金調達を行ったベンチャー企業数 (+48件) ②人材バンクを活用した就業・副業件数 (+60件) ③ベンチャーと市町村との協業事業の件数 (+24件) ④中小企業の海外展開成約件数 (+100件)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

申請者	福岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	198,206千円(42,959千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的(効果)	本県には企業や研究拠点の集積などによる産学官連携の強固な素地が構築されており、「グリーン水素」や「次世代自動車」などの分野において、世界をリードする産業や製品を創出していくポテンシャルを有している。世界的な脱炭素化の潮流をチャンスととらえ、経済と環境の好循環を生み出す成長戦略の担い手として、世界で活躍する中小企業を創出するとともに、本県が国のグリーン成長戦略を加速させる先進拠点となることを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○グリーン水素産業振興事業 ・県内企業の参入等支援に係る九州大学との連携強化等(負担金)2,923千円 ・水素関連産業における県内企業の育成・集積(補助金)15,000千円(負担金)3,927千円 ・「北九州市響灘臨海エリア」を中心とした水素大規模拠点の構築(負担金)15,022千円 ・FCバス普及に向けた実証(負担金)1,600千円 ○次世代自動車に対応した北部九州自動車産業先進拠点化推進事業 ・県内の自動車産業がCASE・カーボンニュートラル等の次世代自動車分野に対応するために策定した構想に係るフォーラム開催(負担金)3,374千円 ・自動車メーカーやTier1メーカーのニーズに基づく「電動化参入支援商談会」を開催(負担金)1,113千円  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①成長産業分野への新規参画企業数(水素) (+20社) ②県の支援により新たな成長産業分野における新製品・新サービスの開発件数(水素) (+13件) ③新たに電動化等の次世代技術に取り組む自動車関連企業数(自動車) (+46社・団体)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

事業概要【福岡県のポテンシャルを生かした、デジタル社会を支える産業の拠点形成事業】

推進当初

申請者	福岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	195,009千円 (51,896千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	デジタル社会を支える産業分野である「半導体」「ブロックチェーン」分野において、産学官連携による人材育成、企業支援の仕組みを活かし、地域のイノベーションを支える人材の定着や、魅力ある製品・サービスを生み出す企業の集積により、地方創生に寄与する、魅力的で稼ぐ力を有する「しごと」が創出されることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「福岡県半導体・デジタル産業振興会議」の運営（人件費、活動費等）2,961千円 ○先端半導体アドバイザーボードの設置（委託費）1,097千円 ○県内企業に対する半導体関連製品等に係る研究開発支援（人件費、補助金）21,126千円 ○県内半導体・デジタル関連製品等のビジネス展開支援（出展料、委託費）12,041千円 ○大学生向けブロックチェーン勉強会の開催（委託費）3,769千円 ○ブロックチェーン関連製品開発・実証支援（補助金）9,000千円 ○福岡発ブロックチェーン関連製品のビジネス展開支援（出展料、委託費）1,902千円  ↑福岡県半導体・デジタル産業振興会議の設立総会  ↑半導体関連製品のイメージ  ↑福岡発ブロックチェーン関連製品のビジネス展開支援  ←大学生向けブロックチェーン勉強会の開催		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①半導体、ブロックチェーン分野への新規参画企業数（+114社） ②県の支援による半導体、ブロックチェーン分野における新製品・新サービスの開発件数（+42件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

事業概要【持続可能な商店街活性化事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	112,900千円 (21,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・次世代の後継者育成による持続可能な地域商業拠点づくり ・消費・賑わいの早期回復による商店街の魅力を形成する老舗などの資源の維持・強化 ・各地域の強みを生かした魅力あるまちづくり ・地域の自主的な取り組みによる持続可能なまちづくり		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「食」に関するイベント開催及びマッチング支援 ・イベント開催支援（補助金）10,000千円 ・イベント開催（委託費）1,230千円 ○新たな来北者をターゲットとした情報発信事業 ・広報物等作成・掲載（委託費）1,070千円 ○官民連携による街なか魅力向上事業 ・大規模な空き店舗解消に向けたテナント誘致等（負担金）9,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①主要商店街における新規出店件数 (+25件) ②地元農林水産業者と商店街とのマッチング件数 (+25件) ③開催支援したイベントでの事業費収入 (+3,500,000円) ④商店街周辺における歩行者通行量（黒崎地区） (+6,000人)	関連URL	調整中

事業概要【地方創生SDGs達成に向けた企業へのSDGs実践推進事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	315,160千円 (47,458千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・市内企業のSDGsの取組を誘発・加速する支援により、SDGsを意識、実践する企業の増加を図り、SDGsを原動力とした地域経済の成長を目指す ・市内企業のダイバーシティ経営の実装、地域貢献等を支援することで企業価値の向上を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業のSDGsの取組の誘発・加速支援 ・認証制度の運営（委託費等）18,000千円 ・登録制度の運営（委託費）1,000千円 ・民間主導によるSDGs支援体制構築・運営・情報発信等 (委託費) 16,175千円 ○企業のダイバーシティ経営実装支援 ・ワークライフバランス先進都市推進事業（委託費等）1,400千円 ○地域貢献による企業価値向上支援 ・企業による防災人災育成事業（委託費等）1,483千円 ・企業と地域団体の活動支援事業（補助金）500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①労働者の賃金上昇額（SDGsの実践等による企業価値向上を評価） (+700円) ②「北九州SDGs登録制度」登録事業者数 (+1,000事業者) ③SDGs経営サポートの活用件数 (+125件) ④女性のキャリアアップ支援セミナーでのアンケート調査での満足度 (「良い」、「大変良い」と答えた割合) (+90%)	関連URL	調整中

事業概要【多様な人材の活躍による持続可能な社会構築推進事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	381,813千円 (73,310千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	高齢化の課題先進都市である北九州市において、孤独・孤立対策の先進的な取組を実施することで、持続可能で安心して住み続けられる地域社会のモデルを構築する また、北九州市で活動する多様な主体と行政、地域が連携、協働する包括的な支援体制を構築し「地域共生社会」の実現を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○孤独・孤立対策のためのプラットフォームづくり ・会議開催経費（報償費等）1,655千円 ○障害者の方の就労支援及び受け入れ企業の支援 ・マッチング就労支援費（委託費等）43,591千円 ○外国人市民が安心して生活できる環境整備 ・留学生支援及び地域と外国人市民との相互理解推進（委託費等）2,699千円 ○地域活動を担う人材の発掘、育成と地域社会のデジタル化の推進 ・自治会活動支援アプリ運営費（補助金）2,000千円 ・地域資料集作成経費（委託料）5,054千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①近所の人同士の「支え合い」を感じることができる人の割合 (+8%) ②孤独・孤立対策プラットフォームへの参加団体 (+30団体) ③就労継続支援事業所の平均収入の増加割合 (+19%) ④就労定着支援事業所の就労定着率80%以上の事業所割合 (+8.19%)		関連URL 調整中

事業概要【「エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進」深化・高度化事業】

推進当初

申請者	福岡県福岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	249,158千円 (84,723千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	国内外の優秀なエンジニアが集まる環境を創出し、エンジニアによって生み出される新サービス等を通じて経済成長や市民生活の向上を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○エンジニアカフェにおけるアウトプット創出支援 ・事業費 60,588千円 ○プロダクト開発促進支援 ・コンテスト等開催関連経費等 9,657千円 ○エンジニアビザを活用した人材集積 ・エンジニアビザ認定事務等事業費等 2,127千円 ○クリエイティブ人材の育成 ・クリエイティブ人材育成経費等 10,865千円 ○アウトプットPR ・イベント出展に係るプロモーション経費等 1,486千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①アウトプット創出件数（+22件） ②IT人材を確保できている市内IT企業の割合（+13pt） ③エンジニアビザを活用して入国した外国人エンジニア数（+40人） ④本事業に参画した県外のエンジニアや学生の数（+840人） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.city.fukuoka.lg.jp/so-ki/kikaku/R5_sougoukeikakusingikai_4.html		

事業概要【自転車を活用したまちづくり推進プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県直方市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	9,550千円 (2,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・プロモーションの強化と、フックとなるコンテンツの磨き上げを行うことで、交流人口の増加・移住定住の促進を目指す ・本市の強みをサイクリングを通して発信することで、訪れたい・住み続けたいと思えるようなまちづくりに貢献する ・「サイクリングのまち」としての魅力の訴求や、市内の回遊ルートの提案などの内容を拡充させる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○サイクリングイベントの実施 ・イベント管理運営費 (委託料) 800千円 ・キッズレース運営管理費 (委託料) 500千円 ・イベント広告物制作費 (委託料) 500千円 ・市内回遊施策 200千円 ○紙・デジタルでの直方市観光パンフレットの制作 ・観光情報改修費 203千円 ・パンフレット増刷費 (5,000部) 297千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数 (+650千人) ②サイクリングイベント参加者数 (+224人) ③直方市HP (観光ページ) ・のおがたサイクリング閲覧数 (+9,000回)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.nogata.fukuoka.jp/shisei/_1235/_2533/_10504.html (効果検証) https://www.city.nogata.fukuoka.jp/shisei/_1235/_2533/_2534.html

事業概要【農業DXを核とした田川市農業振興ビジョン推進プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県田川市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	27,996千円 (8,986千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・マーケットインに基軸を置いた、ビジネスマッチングなどによる稼げる農業経営者を育成する。 ・スマート農業の推進などに通じた、持続可能な生産体制を確保する。 ・これまでのIT企業誘致の取組などを踏まえた、地域の産業間連携を促進する。 ・デジタル人材獲得と併せた未利用農産物利活用体制を構築する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 農業コミュニティ構築事業 農業者の経営改革支援、新たな農関連サービス企業の農業コミュニティ加入促進、農関連サービス企業と農業者とのマッチング等（委託料）7,986千円 ○ デジタル人材獲得による農業DX支援と新たな農産加工品創出事業 ・デジタル人材による伴走型の農業DX助言（諸謝金）100千円 ・デジタル人材×地域協働による、開設した農産物加工所での未利用農産物活用をテーマとした、農産加工品の販路拡大・製品改良等（補助金）900千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業収入額（+23万/人） ②スマート農業など新たな農業に取り組む農業者数（+5人） ③開設する農産物加工所で新たに開発する加工品の商品数数（+5商品）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/kiji0038247/index.html （効果検証） https://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/kiji0037281/index.html

事業概要【大学と大学生らの力を活用したまちの活性化推進事業】

推進当初

申請者	福岡県宗像市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	67,689千円 (25,045千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・大学生等が地域に入り込み、関係構築を行い、地域の課題発掘から解決に取り組み、賑わいの創出、シビックプライド醸成を図る。 ・企業等が主体となり、学校では出来ない体験を小中学生に与え、賑わいの創出、シビックプライドの醸成を図る。 ・若者がチャレンジ出来る風土を作り、若年層によるまちの活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【大学連携まちづくり事業】 市内2大学と市外4大学の大学、大学生が地域活動等から課題を発掘し、解決策を検討実行する。 (委託料)12,000千円 (需用費)400千円 (役務費) 9千円 (使用料)100千円 【むなかた子ども大学事業】 〇市内の民間多目的総合施設にて市立学校の児童を対象にした体験学習を行う。 (委託料) 10,000千円 (需用費)136千円 【スタートアップ応援事業】 県内の大学生や若者がチャレンジ出来る風土を作り、若年層を中心としたまちの活性化を後押しする (委託料)2,400千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた大学・大学生らと地域が一体となった課題解決提案件数 (+ 20件) ②「むなかた子ども大学」への大学生らの参画者数 (+ 40人) ③事業を通じた、大学生ら若年層の起業件数 (起業準備を含む) (+ 5件) ④大学生ら若年層の転出者率 (▲3%)		



職場体験



e-sportsコース



デジタルテクノロジーコース

関連URL

調整中

事業概要【持続可能なまちづくりに向けた地域活力向上事業】

推進当初

申請者	福岡県古賀市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	49,962千円(16,478千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・整備したインキュベーション施設を、「人與人」、「人と地域」のつながりを構築・強化する拠点とし、新たな人の流れを創出するためのインキュベーション施設の利活用促進事業、域内外の企業や市民など、多様な人のつながりを生み出しながまちづくりへの参加意識の醸成を図るまちづくり推進事業、市民と事業者等の協働によるシティプロモーション推進事業といった取組を通して、継続的に多様な形で関わる関係人口を創出・拡大させることで地域活力の活性化を図り、持続可能な地域社会構造への移行をめざす。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【インキュベーション施設利活用促進事業】 5,390千円 他の類似施設と差別化を図る新たな企業誘致や市内企業を巻き込んだマッチングを戦略的に推進する。 【共創まちづくり推進事業】 6,270千円 これからのまちづくりの中心を担う20代から40代の若い世代、地域の課題を自分事としてとらえながら、課題解決に取り組めるようなきっかけづくりの場として「リビングラボ」の活用を図る。 【シティプロモーション推進事業】 4,818千円 単に市から魅力や情報を一方向で発信するのではなく、域内外の多様な人を巻き込みながら、シティプロモーションに取り組むことで、「人與人」「人と地域」のつながりを構築する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①インキュベーション施設利活用促進事業により県外から進出した企業数（+13社） ②リビングラボ、まちづくり体験プログラムへの参加者数（+1,200人） ③公式YouTubeチャンネルの登録者数（+1,900人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.city.koga.fukuoka.jp/cityhall/work/kikaku/071.php

事業概要【観光地域づくり法人（DMO）によるまちづくり事業】

推進当初

申請者	福岡県福津市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,104千円（16,568千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・所得の向上、魅力の発信・体験、関係者の連携による農業・水産業の担い手発掘、育成を図る ・門前町活性化、津屋崎地区活性化、新規参入事業者の地域連携支援による地域再生を図る ・来訪者による市内消費額の拡大を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○農業・水産業の担い手発掘、育成 ・食フェア等の企画実施（補助金）3,958千円 ・体験型個人ツアーメニュー造成（補助金）2,879千円 ○地域再生 ・門前町活性化（補助金）798千円 ・津屋崎地区活性化（補助金）398千円 ・新規参入事業者地域連携支援（補助金）798千円 ○来訪者による市内消費額の拡大 ・Webサイト、専用SNS活用発信（補助金）1,032千円 ・外国人対応（外国人観光案内所整備、海外メディア対応、多言語マップ作製）（補助金）3,022千円 ・PR促進（補助金）3,183千円 ・特産品開発（補助金）500千円  福津観光情報ポータルサイト FUKUTSU WAVE		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+2,105百万円） ②津屋崎千軒周辺と門前町における新規事業者数（+8件） ③食フェアにおける平均消費額（+2,500円） ④DMOが運営するWebサイトアクセス数（+262,696PV）	関連URL	交付金の具体的使途・実施体制 効果検証 https://www.city.fukutsu.lg.jp/shisei/seisaku/2/2724.html

申請者	福岡県福津市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,670千円 (14,894千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・まちづくり人財が分野横断的に集う仕組みをつくる ・異なる属性のまちづくり人財が関係性を深める仕組みをつくる ・他活動主体との共働・共創に取り組むことで担い手問題の解決を図る ・民間主導による市民参画・共働のまちづくりへの転換を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○センターの設立・運営業務（共働による未来創造支援業務）（委託料）12,628千円 ○新たなまちづくり人財の発掘・育成・活躍支援プログラムの開発（担い手育成業務）（委託料）2,266千円	 場づくりファシリテーター実践塾「BA-School（バスクール）」	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①共働・共創プロジェクト事業数（+50事業） ②センターの関係人口数（+3,296人） ③10代から30代のまちづくりへの参加率（+5%）	関連URL	交付金の具体的使途・実施体制 効果検証 https://www.city.fukutsu.lg.jp/shisei/seisaku/2/2724.html

申請者	福岡県、久留米市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	497,754千円（186,987千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・グローバルな投資家との接点を創出し、海外からの投資を呼び込む ・アジアとボストンを対象地域とし、海外企業誘致を加速化する ・国内外の企業が集う場づくりや分野横断的なイベントを開催し、グローバルなオープンイノベーションを促進 ・スタートアップや中小企業のアトツギなどの若手企業家の育成を強化し、イノベーションの多様な担い手を創出する		
事業概要・ 主な経費	○グローバル拠点の形成・CIC等との連携強化 ・新戦略策定のための調査委託費等 27,702千円 ・CIC東京個室利用料等 6,822千円 ・ボストンミッション団の派遣 21,094千円 ・ジェトロ福岡事務所の機能強化 6,524千円 ・イノベーションコミュニティ構築のためのイベント開催 12,560千円 ・海外スタートアップ、VCの誘致活動の強化 23,981千円 ・世界を目指す起業家・投資家の育成 27,406千円 ○ユニコーン創出プロジェクト ・プログラム運営費等 20,431千円 ○アトツギ・サッシンベンチャー創出プロジェクト ・セミナー・ワークショップ等開催費 40,467千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本県のベンチャー企業への投資額（暦年）（+518億円） ②1億円以上の投資を受けた企業数（+50社） ③福岡拠点開設を決めた海外企業数（+32件） ④米国ボストンに有望人材を派遣する件数（+20件）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

事業概要【近未来MaaS福岡モデル創出事業】

推進当初

申請者	福岡県ほか3自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	438,167千円 (160,898千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・地域公共交通の維持・確保とともに交通分野のデジタル化を推進するため、MaaSを始めとする交通DXの取組を推進 ・モビリティデータの集約・分析を行うプラットフォームを構築し、交通政策立案（EBPM）や交通事業の最適化、他分野における施策展開を図る ・地域の実情に応じた持続可能で多様かつ質の高い地域公共交通を実現		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○MaaSプラットフォームによるデータ利活用の実施 ・MaaSプラットフォームを活用した分析・可視化（委託料） 18,634千円 ○データ蓄積のための新モビリティサービスの導入支援 ・企画乗車券の造成費（補助金）4,373千円、（負担金）930千円 ・MaaS検討会議の実施（需用費、使用料）1,493千円 ・観光情報の発信（委託料、需用費）6,985千円 ・AIオンデマンド交通の導入（補助金）72,376千円 ・デジタル技術を活用したコミュニティバスの実証運行（補助金）47,688千円 ○MaaSの普及・啓発 ・福岡県全体のMaaSに係るプロモーションの実施（委託料）7,300千円 ○福岡県MaaS実行委員会の運営 ・運営費（報償費、講師旅費、食糧費、使用料）1,119千円 <pre> graph TD A[交通情報のオープンデータ化 データバス情報等] --> D[モビリティデータ連携基盤によるデータ利活用] B[AIオンデマンド交通等 移動データ等] --> D C[MaaS導入 移動データ等] --> D D --> E[地域公共交通計画の効率・高度化] D --> F[交通事業の最適化] D --> G[他分野・民間における活用展開] E --> H[交通DXの推進] F --> H G --> H </pre>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①北九州・筑豊・筑後地域における乗合バス利用者数（+20,225千人/年） ②県内市町村における新たな輸送サービスの導入件数（+13件） ③MaaSアプリ利用者数（+41,975人） ④データ利活用実施市町村数（+25市町村）		
	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/	

事業概要【関連産業との相互連携強化による「選ばれる福岡県の農林水産業」の実現】

推進当初

申請者	福岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	535,151千円 (192,886千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・サプライチェーンが一体となり、付加価値の高い県産農林水産物を流通・販売するモデルを構築 ・効率的な農林水産物流通の確立により、将来に持続する物流ルートを確保 ・食品産業等における原材料調達の国内回帰の動きをとらえた、ニーズに対応した販売促進活動により、業界相互の連携を強化		
事業概要・ 主な経費	○信頼性を担保した付加価値の高い農林水産物流通体制の確立 ・新たなアサリ流通体制の構築(補助金)12,852千円 ○トラック輸送能力低下への対応 ・果樹における流通ロス低減技術や販売期間延長技術の実証 (需用費等) 10,381千円 ○持続可能なサプライチェーンの構築 ・食品卸業者との連携による販売促進 (委託料等) 66,453千円 ・大手量販店と連携したワンヘルス認証品のPR (委託料等) 31,499千円 ・民間企業と連携した県産木材の需要拡大 (補助金等) 19,892千円		 福岡有明あさり  福岡県 ワンヘルス認証 ワンヘルス認証
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①大都市圏への県産青果物流通量 (東京都中央卸売市場における県産青果物取扱量) (+3,000トン) ②新たなアサリ流通体制「福岡モデル」による取扱量 (+200トン) ③福岡フェア等における県産食材の取扱高 (+37.50百万円)		関連 URL (交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

事業概要【北九州学術研究都市を中心とした成長産業活性化事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	373,104千円 (129,914千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	学研都市全体で半導体・自動車産業をはじめとした成長産業の高度化や脱炭素・グリーン成長に取り組み、新たな都市ブランド確立を目指す。 カーボンニュートラルのまちづくりに取り組むことで、地域企業等にいち早く脱炭素社会に向けた各種チャレンジができるプラットフォームを提供し、ビジネス拡大を支援する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○カーボンニュートラル学研都市の構築 ・EVのリース (賃借料) 740千円 ○研究開発の拠点化・実証支援 ・研究開発プロジェクト支援事業 (補助金) 43,000千円 ・衛星データ利活用実証事業 (補助金) 20,000千円 ○成長関連企業誘致の促進 ・首都圏での学術研究都市フォーラム開催 (補助金) 5,000千円 ○人材育成・企業競争力向上 ①半導体産業の振興 ・ひびきの半導体アカデミーの開催 等 (補助金) 29,200千円 ②EV産業の拠点化への支援 ・EV化参入支援窓口の設置 等 (補助金) 6,974千円 ③宇宙産業の振興 ・啓発セミナーの開催、人工衛星製造拠点化に向けた調査 等 (委託費) 25,000千円 北九州学術研究都市  次世代産業  半導体 (グリーンデバイス)  EV  宇宙 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内新規雇用者数 (成長産業企業) (+487人) ②企業誘致件数 (学研都市内) (+16件) ③研究開発プロジェクト件数 (学研都市内) (+23件)	関連URL	調整中

事業概要【ロボット・DX推進センターを拠点とした、企業変革促進伴走支援事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	430,372千円 (118,172千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	ロボット・DX推進センターを核として、DX・グリーン成長に向けた企業変革を支援することで、脱炭素に資する新たなサービスの創出や新たな市場に参入する企業を増やし、市内企業の競争力を向上させる。 また、雇用創出、生産性向上・競争力強化による地域経済活性化に取り組み、地方創生の「成功モデル都市」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業変革 (DX・グリーン成長) に向けた機運醸成 ・ロボット・DX推進センターの強化 (委託費) 64,000千円 ・企業変革啓発活動 (補助金) 8,484千円 ○企業変革準備支援 ・専門家派遣、横展開促進事業 (補助金) 21,188千円 ・人材育成事業 (補助金) 8,000千円 ○企業変革実践支援 ・企業変革促進補助事業 (補助金) 11,500 千円 ・データ計測用IoT機器の導入 (補助金) 5,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①DX・グリーン成長に向けた計画実践企業数 (+ 210社) ②DX・グリーン成長を目指す企業を伴走支援した企業数 (+ 430社) ③ロボット・DX推進センターの取組みを紹介した企業数 (+ 300社)	関連URL	調整中

事業概要【「人への投資」をはじめとした企業の投資加速化支援事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	348,142千円 (119,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・市内大学の知を活用したリスキリングスクールを開設し、企業変革に向けて経営者のマインドセットを行う ・現場リーダー等社内人材を対象としたスクールにより中小製造業の労働生産性の向上を図る ・市内人材および外国人材のインターンシップを実施して市内企業を知ってもらうことで、地域企業への定着を図る ・ロボット導入やDXの推進により中小製造業の労働生産性の向上を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・市内大学の知を活用したリスキリングスクールの開校 (補助金) 20,000千円 ・現場リーダー向け生産性向上スクール (補助金) 1,000千円 ・市内大学生を対象としたインターンシップ事業運営 (負担金) 6,600千円 ・就職を前提とした高度外国人材のインターンシップ事業 (委託費等) 7,000千円 ・九州工業大学の知的資源を活用した地域連携 (委託費) 15,000千円 ・DX推進人材、設備投資補助事業 (補助金) 40,000千円 ・ロボット導入支援補助事業 (補助金) 30,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内中小製造業の労働生産性 (+ 39千円/人) ②売上高または利益額で2倍増を計画する成長企業数 (+ 4社) ③リスキリング教育受講者数 (+ 440人) ④ロボット・DXの実践件数 (ロボット・DX補助金等実践支援数) (+ 210件)	関連URL	調整中

事業概要【アフターコロナを見据えたクールジャパンによるまちづくり推進事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	653,843千円 (135,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	北九州市に集積するクールジャパンコンテンツ関連施設や人材等の資源を活かし、世界的にも若者を中心に人気を持つクールジャパンコンテンツを活用した事業を推進することで、「関係・交流人口」の創出・拡大や関連産業の育成・活性化を図り、北九州市の社会動態をプラスにすべく地域社会の好循環を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○北九州国際映画祭の開催 (映画祭での上映、ゲスト招聘イベント、作品の翻訳等の企画・運営) ・映画祭運営費 (負担金) 10,000千円 ○映画・ドラマコンテンツを活用したフィルム・コミッション事業 ・撮影誘致に向けたプロモート (委託費) 2,800千円 ○eスポーツの振興に資する調査・分析等 (委託費) 2,000千円 ○松永文庫での企画展・デジタルアーカイブ実施 (委託費) 9,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①クールジャパン関連事業実施による経済波及効果 (+110,373万円) ②クールジャパン関連イベント参加者数 (+101,000人) ③クールジャパン関連施設入場者数 (+48,017人) ④クリエイター人材育成事業参加者数 (+1,200人)		関連URL 調整中

事業概要【地域資源を活用した持続可能な八女市ブランド構築事業】

推進当初

申請者	福岡県八女市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	73,053千円 (26,820千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	八女市ブランドの構築・共有が出来ていない、情報発信における地域住民の参画がなされていない、若年層への訴求が不足しているという課題を解決するため、戦略を立てたうえで、分野横断的な情報発信を行っていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○シティプロモーション戦略に基づく、都市圏での八女市 P R イベント (委託費) 13,440千円 ○住民参加型シティプロモーション事業 ・住民参加型魅力発信事業の実施 (委託費・需用費) 730千円 ○若年層に向けた八女市ブランドのプロモーション ・電子雑誌・動画の制作・発信 (委託費) 9,130千円 ・シティプロモーション戦略に基づく八女市広報媒体の改善に係る支援 (委託費) 3,520千円 ・全体概念図		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①八女市の観光入込客数 (+730千人) ②八女市の全国魅力度ランキング (▲125位) ③八女市の20代・30代の転入者数 (+190人) ④魅力発信隊員 (市民ライター等) による記事発信件数 (+185件) 関連URL https://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/8/chi housousei/1500000249735.html		

**事業概要【ネットとリアルの融合で実現する地方創生！WEB版「大川の駅」を基軸とする、
【人の流れ】【まちの元気】【稼ぐ力】創出プロジェクト】**

推進当初

申請者	福岡県大川市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	347,299千円（139,961千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	令和9年度に開業予定の「道の駅」の経済効果を高めるため、以下の効果を創出する ・観光資源の磨き上げ・インバウンド誘客（人の流れの創出） ・大川家具発祥地のまちなみ再生・賑わいづくり（まちの元気の創出） ・デジタル市場開拓・6次産品開発（稼ぐ力の創出）		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○リバーサイド観光活性化事業として、体験型観光の開発や新たなイベント実施等を行う(委託料：10,000千円) ○大川家具発祥地へインバウンドを誘客する事業として、旅行商品の造成等を行う(委託料：10,500千円) ○町屋・古民家活用事業(委託料：9,250千円) ○観光インバウンド拠点施設の整備 (1) 工事監理業務(4,840千円) (2) 保存修理工事費(63,871千円) ○デジタル市場の開拓による運営組織の自立化支援を行う(委託料：12,000千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①大川市公式オンラインショッピングサイト販売額（+75,000千円） ②観光入込客数（+39万人） ③木工発祥地文化財来訪者数（+4500人） ④OKAWAブランド認定商品数（+50商品）	関連URL	https://www.city.okawa.lg.jp/s007/010/020/020/20160225145825.html

事業概要【芦屋版DMOを核とした観光地域づくり事業】

推進当初

申請者	福岡県芦屋町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	168,600千円 (81,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	「芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる政策目標Ⅰ「芦屋の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる」の実現に向け、前身事業の課題であった町内滞在時間（回遊性）を高めるとともに、本町における観光地域づくりの舵取り役となる芦屋版DMOを設立し、地域関係団体と連携した観光振興やマーケティング経営を発展的に実践することで、自らが稼ぐ仕組みを構築し、地域経済の拡大といった好循環に繋げ、持続可能な地域をつくる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○外部人材招聘によるDMO事業支援 10,000千円 ・芦屋版DMO法人事業立案 ・町内事業者とのネットワーク化、地域経済循環や経済効果創出のための仕組みづくり ・町民の機運醸成、DMO事業の人材育成 ○Web3基盤構築 34,000千円 ・インターネットプラットフォーム構築 ・メタバース構築 ○マーケティング調査、計画策定 37,000千円 ・サウンディング型市場調査 ・事業整備基本計画及び基本設計策定	芦屋港活性化基本計画・第1回変更計画に伴う鳥瞰イメージパース 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①メタバースユーザー数（+1,000人） ②芦屋版DMOの管理運営者数（+6人） ③観光消費額（+125,000千円） ④DMOによる自主事業件数（+5回）	関連URL	調整中

申請者	福岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	172,725千円 (60,307千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・海外人材が長期にわたって活躍することができる適正な労働環境の整備を図る ・留学生をはじめとした高度人材の県内就労促進を図る ・世界から海外人材を呼び込むことで、成長著しいアジアを中心とした海外の活力を本県に取り込み、ともに発展していくことで、「世界から選ばれる福岡県」の実現を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○海外人材獲得促進強化事業 ・トライアルインターンシップ等の実施（委託料）17,012千円 ・ウェブサイト運営、合同企業説明会等の実施（負担金）7,300千円 ○金融機関をはじめとした海外企業誘致事業 ・INVEST FUKUOKA(仮称)の実施（負担金等）5,572千円 ・海外における誘致活動の実施（委託料）9,504千円 ○アントレプレナーシップ人財育成事業 ・グループワーク、企業訪問等の実施（負担金）6,536千円 ○特定技能外国人材等の確保・定着に係る最新の法令や在留資格等についての周知・啓発事業 ・特定技能外国人材受入相談窓口の設置（委託料）7,077千円 ・企業向け講習会の開催（委託料）1,725千円 ・出張相談員による企業訪問の実施（委託料）422千円 ・企業向け外国人材受入ガイドブックの作成（委託料）375千円 ・専用ホームページの開設・運営（委託料）4,784千円	海外人材獲得促進強化事業 金融機関をはじめとした海外企業誘致事業 「世界から選ばれる福岡県」の実現 アントレプレナーシップ人財育成事業 特定技能外国人材等の確保・定着に係る最新の法令や在留資格等についての周知・啓発事業	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内外国人労働者数（+16,096人） ②留学生の県内就職者の増加数（+5,190人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

事業概要【環境負荷低減の取組による「環境に配慮した持続可能な福岡県の農林水産業」の実現】

申請者	福岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	445,770千円(162,975千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	・農林水産業における生産、加工、販売の各段階において、脱炭素化やロスの削減、低コスト化といった環境負荷低減の取組を実施することで、本県の農林水産業が環境に配慮した持続的な産業へと成長。 ・環境に配慮した持続可能な農林水産業を支える土台となる農山漁村が維持・発展。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○藻場の保全による水産資源の確保と海藻のブルーカーボンのクレジット化 ・産学官で構成する協議会の設置とCO₂吸収量算定技術の開発 (委託料等) 10,584千円 ・海藻を食害するウコの有効活用に関する取組(補助金等) 3,610千円 ○炭素固定に重要な役割を果たす県産木材の活用と森林の保全 ・C L T流通経費の低コスト化の実証やC L T普及拡大(委託料等) 33,218千円 ○野生鳥獣捕獲の推進による農山漁村の維持 ・鳥獣被害対策システムの開発・活用(委託料、補助金等) 22,010千円		 ブルーカーボン創出 の取組の推進  C L T木材
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県産農林水産物産出額(+1.5億円) ②藻場の保全面積(+17.20ha) ③有害鳥獣の捕獲者数(+90人)		関連 URL (交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

事業概要【北九州市観光産業育成・健全化推進事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	300,000千円(100,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的(効果)	・観光事業者の育成や誘致、生産性向上による収益力アップを通じた観光消費額の増加と人材確保 ・食や祭等の地域資源の活用、ホテル誘致などを通じた高付加価値なサービスの造成による観光消費単価アップ ・公共交通事業者と連携した外国人観光客の北九州空港以外からの誘客、市域回遊・利便性高い仕組構築 ・民間(観光客)による観光情報の発信・拡散を最大限活用する仕組みへの移行		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタルを活用したマーケティング機能強化 (委託費) 16,000千円 ○観光事業の生産性向上・人材育成支援 (負担金) 8,000千円 ○地域DMOや地域団体等と連携した民間のノウハウを活かした高付加価値な観光サービスの提供 (負担金) 9,600千円 ○地域DMOや公共交通事業者等と連携した稼げる観光サービスの造成 (負担金) 19,058千円 ○旅の目的地となるような高付加価値ホテルの誘致 (委託費等) 5,392千円 ○インバウンドへの戦略的対応 (負担金) 26,750千円 ○観光施設などのキャッシュレス対応やデジタルチケット導入の促進 (委託費) 5,000千円		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額(総額) (+61,533百万円) ②宿泊者の観光消費額単価(一人あたり) (+3,063円)		関連URL 調整中

事業概要【スタートアップ・グロースサポート事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	272,540千円 (77,180千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・市内スタートアップ(特にディープテック)の成長を加速化させ、世界で活躍し地域経済をけん引する企業を生み出す。 ・スタートアップによる行政の公共調達支援を行うことで、行政DXを加速させ、課題解決及び市民生活の向上を目指す。 ・スタートアップと市内企業(特にものづくり企業)との協業・オープンイノベーションを支援し、生産性向上・高付加価値化を目指す。 ・スタートアップ・市内企業の成長により、雇用創出・賃金底上げ等による「稼げるまち」を実現し、市内総生産・社会動態を改善する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○市内スタートアップの成長加速化に対する資金支援・伴走支援 ・研究開発・実証支援 (委託料) 9,000千円 ・事業展開支援 (委託料) 10,000千円 ○スタートアップによる行政課題解決・市内企業との協業に対する資金支援・伴走支援 ・行政課題の解決 (委託料) 16,000千円 ・市内企業との協業 (委託料) 16,000千円 ○受託事業者による事業運営 (委託料) 11,180千円 ○課題・ニーズとスタートアップをマッチングするプラットフォームの構築 (委託料) 10,000千円 ○機運醸成イベントの開催 (委託料) 5,000千円 等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域におけるスタートアップの新規雇用者数 (+100人) ②売上高10億円以上に成長した市内スタートアップ (+5社) ③市内スタートアップのエグジット (IPO又はM&A) (+3件) ④市内外スタートアップによる公共調達・市内企業とのマッチング (+22件)	関連URL	調整中

事業概要【選ばれるマチとシゴトに向けた魅力向上・プロモーション事業】

推進当初

申請者	福岡県大牟田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	135,500千円 (41,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・若者や官民連携組織との連携・協働によるまちなか活性化や、新商品や観光に係る体験プログラム等の開発による選ばれるモノ・コトの創出に取り組み、若者がいきいきと活躍する姿等を積極的にプロモーションするとともに、地域企業への就業促進するための取組を展開することで、移住・定住の促進を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○まちなか活性化の推進 ・まちなか再生テーマのシンポジウムや学生アイデアコンペ等の実施 5,500千円 ・若者が集まることができる場の提供とマルシェ等の実施 4,200千円 ・空き店舗や空家等の活用に向けた調査・講演・マッチング等の実施 800千円 ○マチ・シゴトのプロモーション ・市の魅力を発信するための紹介冊子や動画の作成 500千円 ・地域企業の魅力や情報を伝えるイベントや地域企業合同での面談会等の実施 15,000千円 ○選ばれるモノ・コトの創出 ・商品開発・販路開拓に向けた専門家へのコーディネート委託と事業者を支援する補助金の交付 8,500千円 ・体験プログラムや回遊イベント等を開発する観光コーディネーターの配置 5,000千円 ・体験プログラムや回遊イベント等のプロモーションの企画・展開 1,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①相談対応を行った者のうち、本市へ移住した件数 (+60件) ②企業の合同による面談会及び会社説明会の来場者数 (+360人) ③テレビや雑誌で紹介された件数 (+300件) ④新たに創出・魅力向上した商品・サービス・イベント等の件数 (+18件)		
		関連URL	https://www.city.omuta.lg.jp/kiji00318390/index.html



事業概要【ヘリテージ・タイムトラベル：古き良き町並み魅力拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県八女市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	16,402千円 (9,218千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	伝統的建造物群保存地区の平日の閑散や低認知度を解決することを目的として、魅力向上と地域誘客促進を目指します。インフルエンサーによる認知度拡大と市指定文化財今里家住宅の保存活用計画によるブランド力強化の2つの要素事業の展開により、地域に新たな活気をもたらし、観光客の増加は地域経済に波及し、地域全体が活気づきます。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○伝統的建造物群保存地区を観光目的地としての認知度を拡大するために、インフルエンサーを招聘し、動画制作と配信 ・伝統的建造物群保存地区認知度拡大業務委託料：1,576千円 ○市指定文化財今里家住宅を町家ホテルとして活用することを目的として、文化財の価値を保全するための保存活用計画の策定 ・市指定文化財今里家住宅保存活用計画作成業務委託料：7,642千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（旧八女+旧黒木）（+18百万円） ②交流館の来館者数（+1,800人） ③交流館SNSフォロワー数（+900人） ④観光入込客数（旧八女+旧黒木）（+9千人）		関連URL https://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/8/chihouseisei/150000249735.html

事業概要【Re:ぶぜんプロジェクト サーキュラーシステムが紡ぐ豊前版小さな拠点2.0】

推進当初

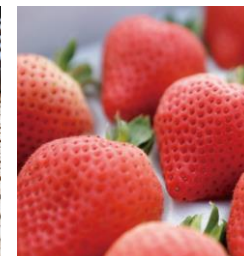
申請者	福岡県豊前市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	401,563千円 (133,183千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・日常生活の機能に着目したシェアリングサービスができる拠点の創出により、拠点の利用活性化を図る ・「ヒト・モノ・カネ」が拠点を循環するために、デジタル技術を用いた移動の最適化を図る ・地域ポイントや地域通貨システムの構築により、ブロックチェーンの仕組みを導入し新たな経済の活性化を図る ・特色のある拠点づくりを進め、拠点内外、市内外からも関係人口の創出拡大を通し担い手の創出育成を図る		
事業概要・ 主な経費	○拠点と拠点、拠点と人を繋ぐための組織形成・育成等の経費 ・コミュニティ創出・支援（委託料）17,050千円 ・サーキュラー事業伴走支援等（委託料）38,005千円 ○移動交通の全体把握と最適化に向けた基礎調査 ・拠点移動・交通システム企画調査（委託料）16,280千円 ○デジタル技術を活用した拠点が稼ぐ仕組みの創出 ・地域活動等推進ポイントシステム等（仮称）基礎調査等（委託料）18,700千円 ○特色ある拠点・コンテンツ作りによる関係人口創出 ・Re:ぶぜん事業伴走支援等（委託料）19,800千円 ・Re:ぶぜん事業関係人口創出拡大費（広報・イベント開催経費等）6,700千円 ・市民活動団体への事業企画運営、講座等関係経費（委託料、補助金）9,111千円 ・地域資源魅力向上価値創造事業（委託料、借上料）7,537千円 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①地域の世帯数（+75世帯） ②小さな拠点の整備数数（+16箇所） ③小さな拠点の利用者延べ人数（+5,900人） ④小さな拠点における売上高（+16,000千円） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値		
関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.buzen.lg.jp/sisei/sisaku/sougousenryaku.html （効果検証） https://www.city.buzen.lg.jp/sisei/sisaku/sougousenryaku.html		



事業概要【地域ブランディングによる観光の促進事業】

推進当初

申請者	福岡県宗像市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,290千円 (21,490千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・宗像の食全般でブランディング、プロモーションを行い、市内外での認知度向上、消費拡大、関係人口、交流人口の増加を図る ・道の駅むなかたを中心とした「コト消費」の拠点化、体験型観光コンテンツの造成等により、観光入込客数、消費額の増を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【「食のまちむなかた」の推進】 ○学校給食を通じた「食のまちむなかた」の認知度向上、消費拡大 ・月1の宗像食材使用給食の提供(補助金) 4,186千円【対象外】 ・市内有機野菜と、水産物の活用(負担金) 15,090千円【対象外】 ○市内外の認知度向上と消費拡大の取り組みを一体的に行う ・地元産米をつかった米粉活用、普及促進、食育講座開設(委託料) 1,200千円 ・直売所のHP作成及びPR動画製作 (委託料) 1,600千円 ・むなかたフェア開催(委託料) 6,000千円 ・フェアPR動画製作(委託料) 200千円 (食材費) 500千円 ○農産直売所の改修(工事費) 2,700千円 【コト消費推進】 ○体験型コンテンツの拡充としてサイクルツーリズムの推進を行う。 ・ツールド九州と連動イベント開催、開催への機運醸成、イベントの広報(委託料) 11,290千円		
KPI	①観光による市内消費額 (+18,000百万円) ②道の駅むなかたの来場者数 (+5,025,000人) ③道の駅むなかたの売上 (+5,022百万円) ④農産物直売所かのこの里の売上 (+1,020,000千円)	関連URL	調整中



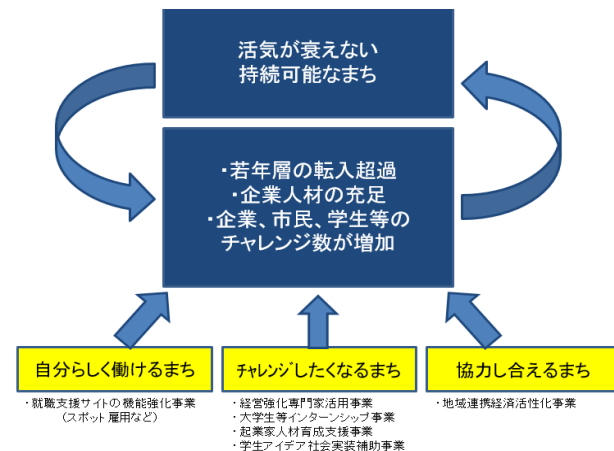
事業概要【インキュベーション施設を核としたデジタル人材の育成とワーケーションによる関係人口創出事業】

申請者	福岡県古賀市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	47,790千円 (15,930千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	生産年齢人口である20代～40代の本市における転出超過傾向を踏まえ、インキュベーション施設を地域の核とし、デジタル人材の育成や進出企業と地元企業の共働による製造業のDX化推進、企業誘致による地域資源・課題の可視化、ワーケーションによる多様な働き方と移住定住の促進・関係人口の創出・拡大といった取組を通して、魅力的なまちづくりと地域活力の活性化を図り、持続可能な地域社会構造への移行をめざす。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○市民や移住希望者にデジタル人材育成のための研修を実施 ・デジタル人材育成研修の実施（委託料）4,680千円 ○製造業を中心とした市内企業の管理職クラスを対象としてDXや生成AIの活用を推進するための支援を実施 ・企業DX推進等支援の実施（委託料）2,800千円 ○企業誘致イベントを実施し、地域事業者との地域資源を活用した共創の取組を実施 ・企業誘致イベントの実施（委託料）3,500千円 ○暮らしや働き方をイメージできる短期のワーケーションを子育て世帯を対象として実施 ・親子ワーケーションの実施（委託料）4,950千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域への20代～40代のUIターン数（+168人） ②デジタル人材育成研修の受講者数（+60人） ③DX・生成AI活用に取り組んだ企業数（+6社） ④親子ワーケーション参加世帯数（+30世帯）		（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） 関連URL https://www.city.koga.fukuoka.jp/cityhall/work/kikaku/071.php

事業概要【糸島市「地域人材活躍・地域活性化」事業】

推進当初

申請者	福岡県糸島市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	51,029千円 (18,125千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	近い未来、人口減少が避けられない中、「自分らしく働けるまち」、「チャレンジしたくなるまち」、「企業や学生、市民、ビジネスパーソンが繋がり、互いのSOSを出し合え、協力し合えるまち」を目標に据えた取り組みを実施し、若年層の転入超過（社会増）や企業人材の充足を実現させるとともに、企業や人材の一人当たりのチャレンジ数を維持・拡大させ、活気が衰えないまちを作る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○経営強化専門家活用事業 9,000千円 ・プロフェッショナル人材を活用した経営課題の解決、事業継続力強化計画の策定（補助金）3,000千円 ・企業とプロフェッショナル人材のマッチング支援、人材採用後の伴走支援、セミナー開催（委託料）6,000千円 ○大学生等インターンシップ事業 2,365千円 大学生等と企業等のマッチング（委託料） ○起業家人材育成支援事業 3,900千円 チャレンジ精神・起業家精神を持つ人材を育成するための研修（補助金） ○就職支援サイトの機能強化事業（委託料） 1,860千円 ○学生アイデア社会実装補助事業 1,000千円 市が抱える地域課題や行政課題等を研究する、協定大学の学生に対する研究費用の補助（補助金）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①20～64歳の転入出者数（+1,200人） ②法人市民税決算額（+0.04億円） ③創業件数（商工会支援件数、累計）（+25件） ④就職支援サイト「きっとみつける 糸島しごとさがし」の登録企業数（累計）（+16社）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.itoshima.lg.jp/s005/010/010/020/070/01/20210326164242.html （効果検証） https://www.city.itoshima.lg.jp/s005/010/010/020/070/01/022/20240201170934.html



地方創生推進タイプ (補正予算分)

事業概要【万博を契機とした福岡県内周遊促進事業】

推進補正

人材	観光	ローカル イノベーション
	○	○

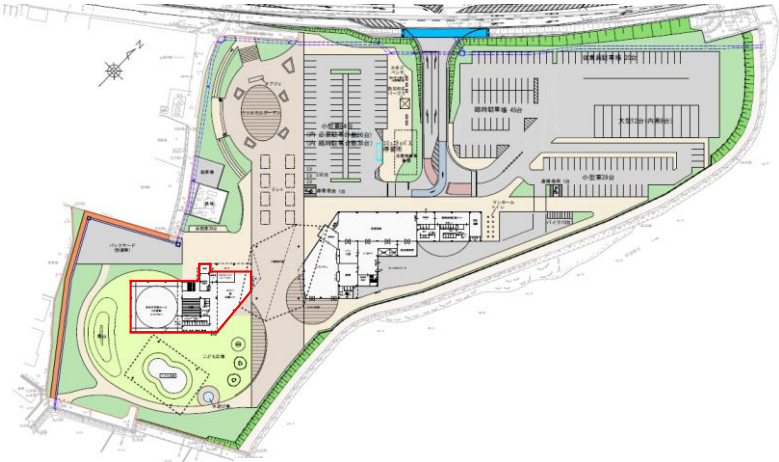
申請者	福岡県	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	200,000千円
事業タイプ	地方創生推進タイプ・補正予算分	事業分野	観光分野
目的（効果）	・同時通訳技術等の万博での使用が見込まれる最先端技術を活用した翻訳システムの導入により、外国人観光客向けバスツアーという新たな地域産業の創出を図るとともに、県内周遊バスツアー「よかバス」のポータルサイトの多言語化を進め、外国人観光客等の県内周遊を促進する。 ・インバウンド、関西圏向けプロモーションの実施により、万博を契機とした誘客を一層促進する。		
事業概要・ 主な経費	○県内旅行事業者の多言語対応実証事業及び各国旅行者の嗜好に合わせたバスツアー商品造成支援事業 ・同時通訳技術による観光ガイド向け翻訳システムの導入及び各旅行事業者Webサイトの多言語化に係る実証事業の実施（委託料） 39,335千円 ・各国旅行者の旅行性向を分析・検証し、伴走型でバスツアー商品の造成を支援（委託料） 16,500千円 ○県内周遊バスツアー「よかバス」の多言語化 ・ポータルサイト「よかバス」の多言語対応ページ設置（委託料） 12,165千円 ○インバウンド・関西圏向けプロモーション ・欧米、アジア等のインバウンド及び関西圏に向けたプロモーションを実施（委託料） 132,000千円		
KPI	①地域における旅行消費単価（外国人）（+19,400円） ②地域における旅行消費単価（日本人）（+5,583円） ③延べ宿泊者数（外国人）（+98万人泊） ④ポータルサイト「よかバス」のユーザー数（+15万人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/



地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【川崎町道の駅を核とした 多世代が出会い、つながり、交流する
～くらしの真ん中「まちのリビング」創出事業～】

拠点当初

申請者	福岡県川崎町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R9年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事費)	579,748千円 (8,853千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	本町の中心を通っている国道322号バイパス沿いに、全天候型屋内遊具施設等の機能をもった道の駅を整備し、子育て環境の充実を図り、子育て世代のさらなる転入を促すとともに、町内経済の活性化と若い世代に魅力的な雇用創出、Uターンの促進、移住定住の促進、町の魅力を高めるプロジェクト等を積極的に推進し、地域の人口、地域の世帯数の増加を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	道の駅において、全天候型屋内遊具施設を建設するものである。 本町では、様々な子育て支援施策を実施しているが上手く情報を発信できていない状況であり、本施設を子育ての情報発信拠点に位置づけ、デジタルサイネージ等のデジタル技術を活用し、子育て支援施策を直接利用していない世代や町外者へ向けて広く情報発信を行う。 メタバースやオンライン会議システムを利用した相談受付を行うほか、AIカメラによる混雑状況の可視化システムを整備し、オンライン上での混雑状況の確認を可能にし、利用客の満足度向上を図る。 ○施設整備等の内容 (設備整備・用地造成を除く) 【設計業務】8,853千円		 ※基本設計中のものであり、変更する場合があります。
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口数 (+32人) ②年間来場者数 (+95,000人) ③交流人口数 (+80,000人) ④年少人口 (0～14歳) の社会増減数 (+9人)		関連URL https://www.townkawasaki.com/

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【将来の気候変動を見据えた画期的な水田作物の品種開発のための研究拠点施設整備事業】

拠点補正

申請者	福岡県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	350,876千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	気候変動による高温や日照不足（寡日照）などの条件下でも、高品質で安定収量を得ることが可能な水稻、麦類の品種開発を加速化させるため、福岡県農林業総合試験場内に、高温、寡日照、多湿環境を高精度に再現できる施設や育苗施設、品質・収量評価施設を整備する。		
整備内容・利活用方策	本事業により整備された施設を活用して、将来の気候変動を見据えた画期的な新品種を開発し、普及することで、生産者の所得向上と地域の活性化を図る。 育苗施設には各種IoTセンサーを整備し、水温、気温、湿度等の施設内環境に応じて、自動でかん水スケジュールを制御することで育苗効率を向上させるとともに、寡日照評価施設や高温耐性評価施設にはマルチスペクトルカメラを導入し、効率的な選抜システムを確立する。 ・交配・育苗施設整備費：70,828千円 ・遺伝子解析機器導入費：3,912千円 ・栽培評価施設整備費：101,903千円 ・品質・収量分析施設整備費：174,233千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①米及び麦の農業産出額（▲44.8億円） ②施設を活用して開発した米及び麦の品種数（+2品種） ③大規模経営体数（10ha以上）（+80経営体）	施設の概要 	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/

申請者	福岡県那珂川市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	190,632千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	文化芸術の様々な価値を活用した事業展開を行い、「多様な人たちの交流の場・居場所づくり」を目指す。		
整備内容・利活用方策	・利用サークルなどによる実演展示販売や市民団体の作品展示などの実施やe-スポーツ事業等、文化芸術事業を通じた子どもから中高年齢者、障がいのある人も含めた交流の場・居場所づくりを進めるための施設活用の幅を広げるための整備 屋外デッキ新設等施設整備：176,704千円 ・インターネット（Wi-Fi）を活用した入退館システム導入による施設のセキュリティ向上等デジタル技術の活用 Wi-Fi機器設置：1,670千円 ・施設外からも施設の活動を見せるための整備 屋外スペースの整備：12,258千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+50人） ②地域の休日滞在人口率（+0.03ポイント） ③サークル等市民主体の文化芸術活動のための施設利用件数（+10件） ④施設利用者数（生涯学習センター）（+19,737人）	関連URL	第2期那珂川市まち・ひと・しごと創生-人口ビジョン-総合戦略を策定しました-那珂川市ホームページ (nakagawa.lg.jp)

事業概要【デジタル技術を活用した平和の拠点づくり等整備事業】

拠点補正

申請者	福岡県筑前町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	233,040千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本町では、「食」と「平和」の情報発信を中心に、地域の特性や資源を十分に活かした滞在型の観光振興、移住人口・交流人口の増加に取り組んでいる。しかし、平和の情報発信拠点施設である町立大刀洗平和記念館には年間8万人以上が訪れている一方、町内各所にある大刀洗飛行場関連の戦跡を活用できていない現状にある。このため、新たな観光・交流資源を創出する目的で、希少な戦跡である掩体壕を平和の拠点施設として整備する。		
整備内容・利活用方策	この掩体壕は当時「飛行機の格納庫」であったが、飛行機が2機格納できる大きさのものが残存しているのは全国的にも珍しい。来訪者が安全に施設を利用できるように補強工事を実施する。併せて、来訪者が当該施設に来れるように、駐車場、トイレ等の周辺環境の整備を行う。 また、最新のAR(拡張現実)技術を用いて、飛行機が実際に格納されている様子など戦時中の情景を再現し、より鮮明な体験型の学びを実現する。 ・平和の拠点づくり等整備工事 215,044千円 ・ARコンテンツ制作及びタブレット購入費等 17,996千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+44,403.3千円） ②掩体壕見学者数（+14人） ③大刀洗平和記念館来館者数（+7千人） ④大刀洗平和記念館売上金額（+9,100千円）	関連URL	https://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/li/050/010/020/index.html



掩体壕(上)
戦時中に建設された飛行機物資、装備、あるいは人などを敵の攻撃から守るための施設。



(下)完成イメージ図